

# 畜産科学科 「東京しゃもプロジェクト」

東京しゃもは生後120日で出荷され、と殺・解体をされます。ヒナから飼育を始めた本校の東京しゃもも、生後60日を過ぎたのでちょうど折り返し地点を過ぎました。

東京しゃもは生後60日から東京しゃも生産組合指定の専用飼料を与えることとなっています。本校でも専用飼料での飼育に切り替えました。

## 8月の活動と記録

### 8月20日に東京しゃも専用飼料に切り替えました

コクのある伝統的な味が特徴の「東京しゃも」ですが、その美味しさの秘密は、与えている**飼料**にあります。

#### ◎鶏ごとの飼料の違い◎

鶏もその目的ごとに特徴があるように、与える飼料にも特徴があります。「美味しい卵を産むように」「美味しいお肉になるように」含まれる成分にも様々な違いがあります。

○産卵鶏に与える飼料 → 「卵を産むため」に必要な成分を含みます。



ヒナの時には成長段階ごとに「前期・中期・後期」と順に与え、大人(成鶏)になるとまた専用の飼料を与えていきます。卵を産むようになると、卵殻の形成に利用される消耗の激しい**カルシウム**が多く含まれるようになります。

カキ殻(貝殻)も与えてカルシウムを豊富に



○肉用鶏に与える飼料 → 「お肉を生産するため」に必要な成分を含みます。



60日という短い期間で肉付きの良い体を作るため産卵鶏と比べて栄養価の高い飼料を与えます。体の小さな雛の時期に最も**エネルギー量の高い**飼料を与え、体をどんどん大きくしていきます。高い**タンパク質**を得るため魚粉や大豆かすを含みます。

魚粉などを配合してたんぱく質を豊富に



○東京しゃもに与える飼料 → 東京しゃもは「お肉を生産するため」に飼育をしますが、肉養鶏のように高エネルギーの飼料を単純に多く与えるのではありません。



配合については企業秘密です!

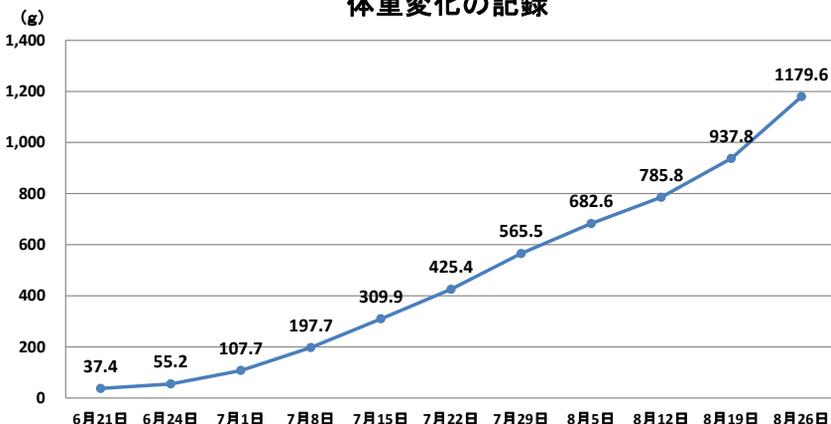
60日齢までは産卵鶏のヒナと同じ飼料を給与して育てます。しかし、60日齢以降は**東京しゃも生産組合指定の専用飼料**を与えています。余計な脂肪はつけず、東京しゃも本来の味を引き出すための特別に設計された配合飼料です。

(※ 飼料に関する記事は2年 木村実佳子が作成しました)

#### 8月までの成長記録(平均)

大きいものではもうすぐ2kgになりそうです。

体重変化の記録



#### 平成29年度都立高校生プレゼンテーションコンテスト

「平成29年度都立高校生プレゼンテーションコンテスト」に向けてスライドの作成や発表原稿の作成など準備を進めました。

##### 飼育条件

- 育雛舎の設計
  - **平飼い飼育**
- ※ 養鶏場の視察から学んだ東京しゃもの性質
  - ・自然光下での飼育
  - ・室温、湿度の調整
  - ・過度な密集から発生する圧死の防止



以上の注意点を踏まえ飼育条件を設定した



※コンテストの様子や結果が瑞穂農芸高校全日制のホームページに掲載されています。そちらもご覧ください。